

岩手県立遠野高等学校 令和6年度 第2回学校運営協議会（臨時会） 会議録

日 時 令和6年9月18日(水) 14:00～15:30 会議室

出席者 令和6年度学校運営協議会委員及び本校職員 計12名

主な次第 ①協議 … 学校魅力化の方策について

②各委員からの提言

議事録

①協議及び②各委員からの提言

※最初に、遠野市地域共創コーディネーターより、遠野高校の魅力化を考えていくために、様々な情報提供があった。

※協議会では議題の性質上、協議と提言が同時進行で行われた。以下、各委員から発言内容の抜粋となる。

- ・基本的な事項については、これからも大切にしていきたいが、教育内容の変化にも対応していく必要があると感じている。
- ・他校の様子なども聞いていると、賞を取ったことのみがクローズアップされている。遠野高校としての魅力は、違うことと感じている。しかし、目玉となるものや、その活動内容を市内外に広めていく必要があると感じている。
- ・多くの生徒が活躍できる場や居心地の良い場所が、もっとあれば良いと思う。生徒が主役でありつつ、教職員も主役となる遠野高校にしてもらいたい。これからは応用力が必要になる社会であると思われるため、学校生活でも様々な挑戦ができたというようになってもらいたい。
- ・居場所がある事が、没頭できることに繋がり、最終的に特技となるのではない。
- ・財団サポーターの活動を通して、将来的に社会福祉関係へ進路を考えている子が多くいるように感じる。これは、サポーターとして実際に体験をしながら、見つけているようだ。遠野高校として、様々な実体験を通して生徒達の目標をみつけていくことも大切ではないか。これをアピールしていくことが、遠野高校の活動に対する市民の理解や、保護者への理解にもつながるのでないだろうか。
- ・新しい遠野物語をつくるプロジェクト（以下、遠野P）の形骸化がみられる。学校魅力化の一環として、探究活動が行われてきたが、より地域社会や地元企業との関係強化をしていく必要もあるのではないか。経験を通じて、自主的に考える力がつくと思う。学校運営協議会の委員として生徒の活動を実現できるように協力したい。
- ・遠野市として情報提供。1点目として、現在市外生徒の募集増加へ対応している。生徒の下宿先の確保について、アピールや事業者募集に係る説明を行っている。協力していただくとありがたい。2点目として、みらいデザインプロジェクトの募集も継続しているので、周知をお願いしたい。3点目として、公営塾について、今後とも連携をお願いしたい。